

令和6年度 新潟市海辺の森指定管理事業計画書

1. 総合的な管理運営方針

風光明媚な日本海を背景に豊かな緑の自然の中で“体験する”“楽しむ”“学ぶ”をテーマにロマンに溢れ多く人々が交流できる海辺の森にしたいと考えています。海辺の森を訪れた人々に“来る人に感動を、去る人に幸せを！”をフレーズとした森と人づくりを目指し、新潟市民が誇れる第一級の観光地を目指していきます。

すべての利用者に公平、平等なサービスを提供し、幼児からお年寄りまで沢山の人が安全・安心に楽しめる施設を目指し「人々の活動を支える安全・安心の充実」「地域住民との協働による交流促進」「海辺の森の歴史・文化・自然資源の掘起しでアイデンティティの育成」を管理運営方針とし“海辺の森憲章”を提唱いたします。

1. 基本的な管理運営体制

本施設の運営管理において、スタッフ全員が“海辺の森憲章”の思いを共有し、施設を育むスキルと体制の構築に務めます。

- ・ 地元雇用のスタッフと現場知を活用します。
- ・ 運営管理の創意工夫に務めます。
- ・ 森の緑の輝きを增强する力を育みます。
- ・ SDGs を考慮した総合リサイクルのアイデア充実に務めます。
- ・ 活動環境を設計する力を養います。
- ・ キャンプ場予約状況等を掲載し、ホームページの充実を図ります。
- ・ ホームページで集客する力（更新作業、PR）を身につけます。
- ・ インターネット予約に対応する力を養います。
- ・ SNS 等を利用して情報発信を強化します。
- ・ 海辺の森のファンやサポーターづくりの意識をもって利用者に対応します。
- ・ LINE でのグループ化で活動情報を共有し、迅速な行動に繋がります。
- ・ 地元 CB との連携を通して豊かな地域づくりに貢献します。
- ・ イベントを「海」「浜辺」「森」エリアごとの魅力を定期開催されるイベントを通し地域の方々と共に海辺の森キャンプ場及び南浜周辺エリアの認知度向上に努めて参ります。

2. 広報活動

施設開館情報、利用案内、イベント情報においては既存の公式ホームページの充実を図ります。多くの市民、特に地域住民に対しての情報提供をはかる為、パンフレット内容のリニューアルや SNS（インスタグラム、X（旧ツイッター）、フェイスブック等）を活用し、公式 HP とすべてリンクを紐付けることで、より効果的な広報の仕組み作りを行い市内はもとより県外の小中学校に広く周知し、新規顧客開拓やリピーターとなって頂ける海辺の森のコアなファン創出に努めて参ります。

また地元の地域団体、新潟市民間企業の他、新潟医療福祉大、新潟食糧農業大学、新

潟青陵大学、新潟大学、敬和学園高校、南浜地域の小中学校の協力を得て情報の拡散を図ります。

各種メディア、第三セクターを通して県内外の企業・団体への PR を積極的に行います。無料ポータルサイト等の利用促進を図ります。

3. 維持管理

安全を最優先とした施設・森林維持管理を重点的に行います。

・施設保守管理

耐用年数を超えても修繕可能な施設は管理スタッフと共に、地元専門業者を活用し迅速に対処し、施設の長寿命化を図ります。

・施設機能管理

施設機能は安全性を十分に考慮し、利用者に影響が出ないよう管理スタッフと共に地元専門業者に委託し迅速に対処します。

・除草・伐採

エリア毎に除草・伐採・林床整備計画を策定し、乗用草刈り機を導入し、除草班チームを編成しエリア毎に管理し計画的に作業を行っていく。利用者の安全確保と良好な森林景観の維持を図ります。

・樹木管理

アメシロ予防等の病虫害防除を徹底し、造園樹木の整枝剪定を行い良好な造園空間の演出を図ります。

・森の再生

マツクイムシ被害によって荒廃したエリアやニセアカシアの被圧が著しいエリアは「北区海岸林保全計画」に基づき、市民植樹会等を開催し、次世代に繋ぐ林相転換を図り、安全・安心で健全な森の再生を積極的に行います。

4. 清掃・環境衛生管理

海辺の森の利用者の皆様に、快適な森林空間の提供に努め、仕様書に定める点検基準、関係法令を遵守し正確性、迅速性をもって対処します。

・遊歩道内の堆積土砂、落葉除去等を定期的に行い安全・安心な歩行空間を確保します。

・トイレ、東屋、炊事棟等の建築施設は高圧洗浄機によりハチの巣、クモの巣等を除去し常に、快適な空間を維持します。

・計画的なゴミの分別、運搬処理を行います。

・不法投棄パトロールを常時実施し、監視体制の充実を図ります。

5. 安全確保の取り組み

近年の緊迫した国際情勢の変化や不安定な気象状況による自然災害の多発に伴い「海辺の森 災害・危機管理マニュアル」に沿って利用者の安全確保を迅速かつ的確に行なうと共に関係機関への連絡体制を確立します。

利用者に危険箇所の周知徹底をします。また、利用者とのコミュニケーションを積極

的に図り、トラブルを防止します。所管警察署、交番、派出所との連携を図り、防犯体制の充実を図ります。

6. 自主事業

「海辺の森交流拡大委員会」の答申に基づき、更なる利用者の利便性、交流人口の拡大を図り、“地域交流・自然体験”をテーマに「人と環境に優しい」取組みを進めていく。緑化啓発、市民の福祉向上及び潤いある地域社会を形成するため積極的に自主事業を展開します。「生きる力を育てる」子供の受入れプログラムを組み定期開催を行います。

1) 利用者の利便性を図るための自主事業

- ・物品販売：既存の自家製の薪、カップ麺などの販売の他、新たにオリジナルブレンドコーヒーやホットチョコレートドリンク、自家製ピザ、地域農水産特産物、かき氷類、サステイナブル商品の提供販売を行います。
- ・レンタルサービス：既存のサービスに加え、お客様からのお声が多かった BBQ コンロ・BBQ サイトの貸出しに加え、需要の高いキャンプ用品の貸出しを始めます。

2) 利用者の増加を図るための自主事業

- ・SDGs に特化したイベントを定期開催する。

既存事業におけるクラフト教室、スタンプラリー、カブトムシハウス体験&ネイチャーガイド、ドラム缶風呂、火起こし・塩づくり体験、ビックシャボン玉体験など今迄の経験則や素材を活かし、地域団体と有志と共に、海、浜辺、森の特色を活かしたモノづくりイベントを定期的に開催する。それらを各種 SNS から発信すると共に地域団体、メディア、第三セクターの広報媒体と連携を進めることで、より効果的な情報発信に努めます。

- ・ピザ窯をつくる製作イベント企画（海辺の森の木質資源を活用、可動式の釜）

馬を取り入れた体験イベント企画（フリースクール）

森ではマウンテンバイクレンタル（保護具セット）や海の間ではシーカヤックのレンタルサービスを今年度は開始していく。（広報については同上）

7. 個人情報保護

「新潟市個人情報保護条例」並びに「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、適切かつ確実に個人情報を保護する。

8. 要望・苦情への対応

「海辺の森 接客マニュアル」により適切に対処、記録に残し再発を防止する。

既存アンケート用紙に加えてグーグルのアンケートフォームを新設しお客様からのご要望や意見などを集約し施設の改善点や仕組み作りに活かしていく。

9. 地元経済振興及び雇用

